



SDGs達成の担い手育成 (ESD) 推進事業

背景・課題

- 2019年に国連総会等で採択され、ESDが全てのSDGs達成に貢献することを掲げた「ESD for 2030」という新たな国際枠組みの構築、それを踏まえて2021年に策定したESD国内実施計画、新学習指導要領における「持続可能な社会の創り手の育成」の明記等、国内外において、SDGs達成に寄与する教育 (ESD) に関する枠組みが構築されている。
- さらに、昨年9月に開催された、「国連教育変革サミット」での総理のステートメントを踏まえ、ESD提唱国である日本として、国内におけるESDに係る取組を推進し、持続可能な社会の創り手を育成する必要がある。
- 昨今の国際情勢や新型コロナウイルスの流行、大規模災害等、様々な予測不可能なことが起こる現代だからこそ、持続可能な社会づくりに対する関心や、そのための人材育成、多様な世代やステークホルダーの協働による取組の推進の必要性が一層高まっている。



SDGs達成の担い手に必要な資質・能力の向上を図る優れた取組に対する戦略的な支援を実施

事業内容

- 事業実施期間 : 令和元年度からの継続事業
- 令和5年度採択数(予定) : ①5件 ②4件 ③2件
- 採択先 : 大学、教育委員会、地方自治体、NPO、民間企業等

柱	趣旨	事業例
① カリキュラム等の開発・実践	SDGs実現の視点を組み込んだカリキュラム、教材、地域プロジェクト等の開発や教育実践を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ➢ SDGs実現の視点を組み込んだカリキュラム、教材、プロジェクト等の開発や実施、評価、成果の全国的な発信。 ➢ SDGsと地域課題解決・地方創生をテーマとする、民間企業と連携した課題解決型学習。 ➢ 共通テーマに基づき海外の生徒とオンライン交流を行うための、ESDに関する教材開発及びその実践。
② 教師教育の推進	SDGs実現の中核的な担い手となる教師の資質・能力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 教育委員会や大学等と連携した、教師や教員養成課程学生等を対象とした、ESDに関する研修や講義の実施、評価、成果の全国的な発信。 ➢ 教育委員会や大学等に対するESDの普及啓発、指導助言、ネットワーク構築等。 ➢ 教師や教員養成課程学生等を対象とした、国際的な視点を踏まえた、ESDに関する取組の開発及び実践。
③ 多様なステークホルダーとの協働による人材育成【新規】	教育分野に留まらない多様なステークホルダーと協働した取組を実施することで、広い視野と実行力のある人材を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 民間企業・団体と連動した、SDGsの各目標に関する取組の企画・実践を通じた人材育成及び成果の普及。 ➢ 社会の変革の担い手であるユース世代と協働したESDの取組の実施による、SDGs実現に向けた自主的・独創的な活動の支援、普及、成果の全国的な発信。

アウトプット(活動目標)

- 採択事業者数

R元年度	R2年度	R3年度	R4年度 活動見込	R5年度 活動見込
14件	13件	14件	12件	13件

アウトカム(成果目標)

- 本補助事業によって実施される研修会、セミナー、ワークショップなどの事業への参加者数(年度内延べ人数)

R元年度	R2年度	R3年度	中間目標 R4年度	目標最終 R6年度
29,828件	13,535件	18,061件	23,500件	-

インパクト(国民・社会への影響)、目指すべき姿

- SDGs達成の担い手を育む国内の教育現場における多様な教育活動(ESD)の実施・支援による、**担い手に必要な資質・能力が向上。**
- 地球規模の課題を自分事として主体的に捉え、その解決に向け自分で考え、行動する**人材の育成に寄与。**